



## 青森県感染症発生情報 (2018年第41週)

### I 第41週の発生動向 (2018/10/8~2018/10/14)

1. 手足口病については、五所川原保健所管内で**警報**が継続しています。
2. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型6人でした。

### II 第41週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点			
小児科 内科	インフルエンザ																
小児科	RSウイルス感染症		4	0.50	2	0.22	13	1.30	3	0.60	1	0.17			23	0.55	-2
	咽頭結膜熱				1	0.11			3	0.60					4	0.10	-7
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎				5	0.56	15	1.50	1	0.20	2	0.33	3	0.75	26	0.62	-4
	感染性胃腸炎		29	3.63	13	1.44	18	1.80	9	1.80	4	0.67	9	2.25	82	1.95	3
	水痘				2	0.22	3	0.30			3	0.50			8	0.19	4
	手足口病		12	1.50	3	0.33	16	1.60	13	2.60	9	1.50	5	1.25	58	1.38	0
	伝染性紅斑		2	0.25							1	0.17	2	0.50	5	0.12	3
	突発性発しん		2	0.25	4	0.44	6	0.60	1	0.20	4	0.67	1	0.25	18	0.43	8
	ヘルパンギーナ		1	0.13			4	0.40			9	1.50	3	0.75	17	0.40	-3
	流行性耳下腺炎				1	0.11	2	0.20			5	0.83	1	0.25	9	0.21	-2
眼科	急性出血性結膜炎															0	
	流行性角結膜炎															-3	
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0	
	クラミジア肺炎															0	
	細菌性髄膜炎															0	
	マイコプラズマ肺炎											6	6.00	6	1.00	-6	
	無菌性髄膜炎															0	

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

## 感染症の窓

侵襲性肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌による侵襲性感染症のうち、本菌が髄液又は血液などの無菌部位から検出された感染症のことをいいます。

小児及び高齢者を中心とした発症が多く、小児と成人でその臨床的特徴が異なります。小児では、肺炎を伴わず、発熱のみを初期症状とした感染巣のはっきりしない菌血症例が多くみられます。また、髄膜炎は、直接発症するものの他、肺炎球菌性の中耳炎に続いて発症することがあります。成人では、発熱、咳嗽(せき)、喀痰、息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多くみられます。髄膜炎例では、頭痛、発熱、痙攣、意識障害、髄膜刺激症状等の症状を示します。

侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチン(定期接種)が有効です。肺炎球菌に対するワクチンは、年齢に応じたワクチンとスケジュールがあります。乳幼児の場合は、生後2か月から接種を開始することができ、接種回数は開始時期によって異なります。高齢者の場合は、主に65歳以上で、該当する生年月日の方が定期接種を1回受けることができます(表)。定期接種の詳細については、お住いの市町村にご相談ください。

◎詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [肺炎球菌感染症\(高齢者\)\(厚生労働省HP\)](#)

### 侵襲性肺炎球菌感染症 (五類全数把握対象疾患)

定期接種の対象者は毎年異なるため、接種の機会を逃さないようにご注意ください

平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)は①もしくは②の方が定期接種の対象です。

対象者①(生年月日)

平成30年度に	
65歳となる方	昭和28年4月2日生～昭和29年4月1日生
70歳となる方	昭和23年4月2日生～昭和24年4月1日生
75歳となる方	昭和18年4月2日生～昭和19年4月1日生
80歳となる方	昭和13年4月2日生～昭和14年4月1日生
85歳となる方	昭和8年4月2日生～昭和9年4月1日生
90歳となる方	昭和3年4月2日生～昭和4年4月1日生
95歳となる方	大正12年4月2日生～大正13年4月1日生
100歳となる方	大正7年4月2日生～大正8年4月1日生

対象者②

60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方

表: 高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの定期接種について

出典: 厚生労働省パンフレット



### Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：東地方1人、青森市1人、弘前1人、八戸市1人、上十三1人  
(2018年計：157人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：青森市1人  
(2018年計：32人)
- ・バンコマイシン耐性腸球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人  
(2018年計：5人)
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：弘前4人、むつ1人  
(2018年計：50人)

### Ⅳ 病原体検出情報 ※（）内は、検査材料及び検体採取日です。

麻疹疑似患者（咽頭ぬぐい液、血液、尿、8/17）・・・ヒトライノウイルス A 及び HHV6B：青森市1人  
 無菌性髄膜炎患者（髄液、ふん便、咽頭ぬぐい液、8/16～9/7）・・・  
 コクサッキーウイルス A9 型及びヒトパレコウイルス：青森市1人、  
 ヒトパラインフルエンザウイルス 1 型：青森市1人、コクサッキーウイルス B3 型：八戸市1人

### Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第38週～2018年第41週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
38	H30.9.17 ~ H30.9.23		百日咳3人			腸管出血性大腸菌 感染症1人	
39	H30.9.24 ~ H30.9.30		梅毒1人	梅毒3人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		百日咳1人
40	H30.10.1 ~ H30.10.7		百日咳2人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	百日咳1人	
41	H30.10.8 ~ H30.10.14	腸管出血性大腸菌 感染症1人	百日咳4人	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人			百日咳1人

・第40週に弘前保健所管内で百日咳2例の届け出がありましたので追加しました。

### Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2018年第38週～2018年第41週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
38	H30.9.17 ~ H30.9.23		2			1	
39	H30.9.24 ~ H30.9.30	1				1	
40	H30.10.1 ~ H30.10.7	1	1	1	1	1	1
41	H30.10.8 ~ H30.10.14	2	1	1		1	

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第40週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	16515	3	123	3322	25	18	341	801	9	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	5	3	2	67	1	3	99	145	226	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	40	11	2	1620	23	641	178	1589	51

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	521	12	160	540	990	57	369	28	2467	329

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	5212	140	93	60	7271	1103	223	19

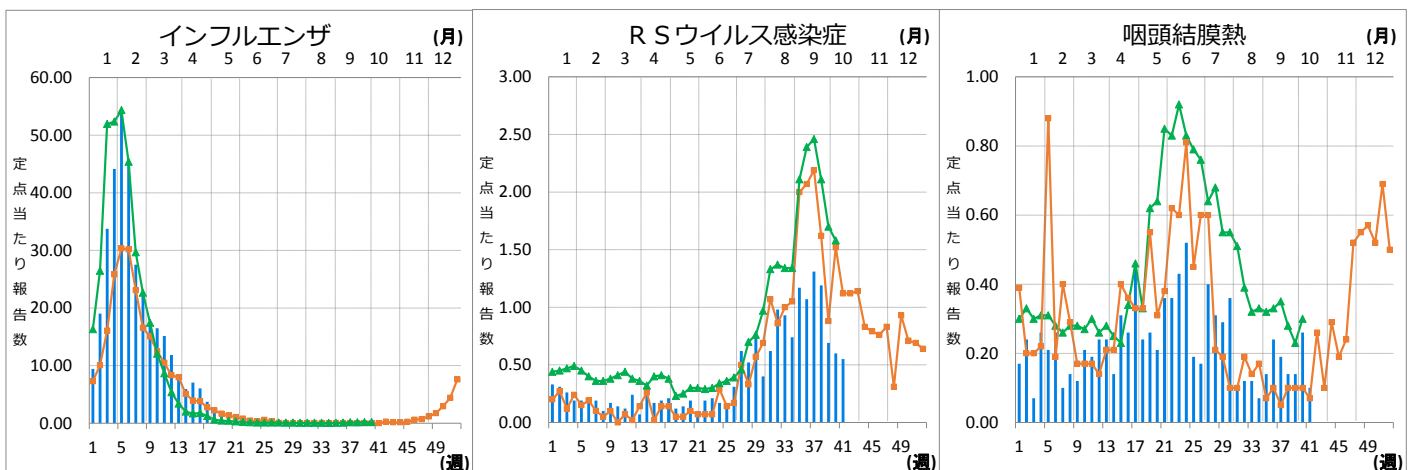
青森県（2018年第1週～2018年第41週までの累計）

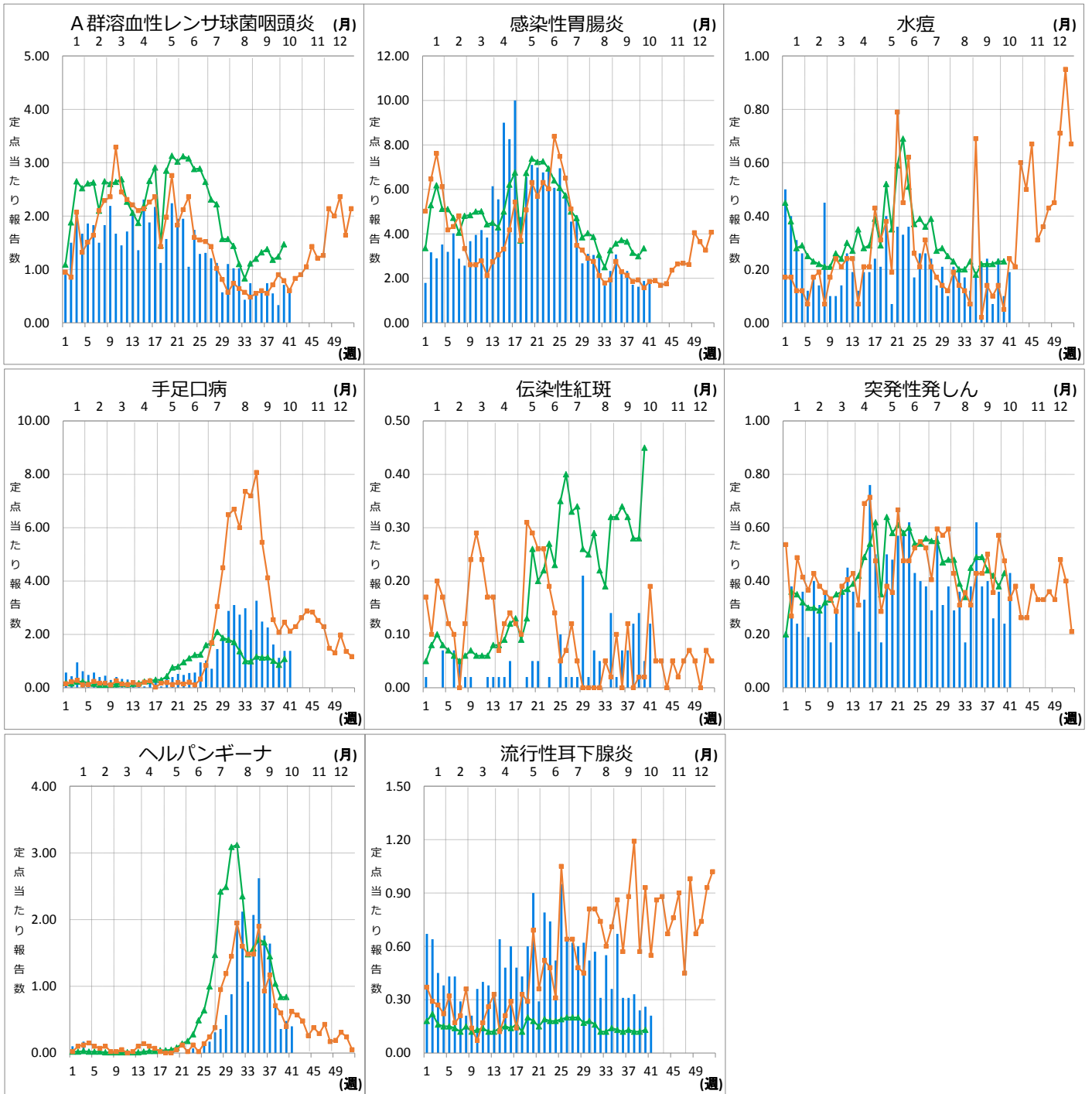
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	157	3	32	1	1	4	6	2	20	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	3	4	4	1	12	4	29	1	5	50

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第41週、ただし全国は前週）

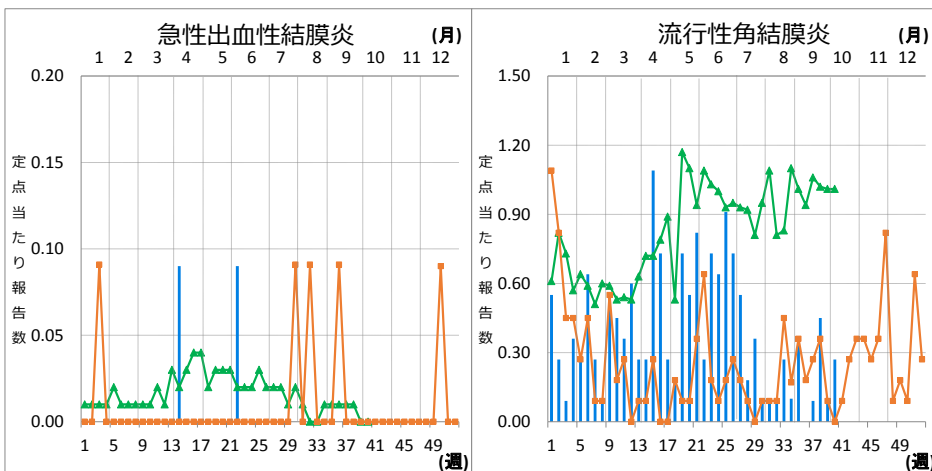
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





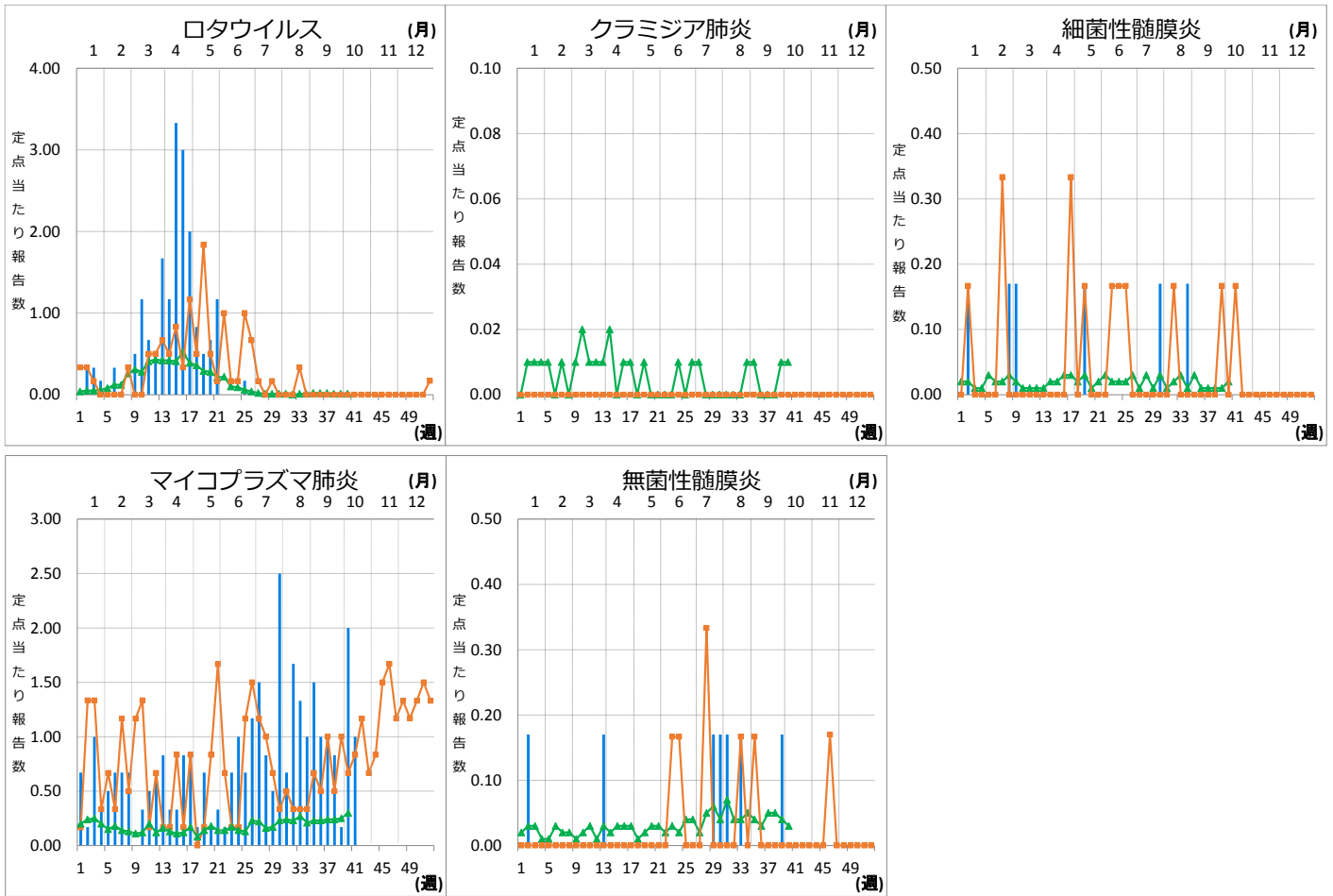
**Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第41週、ただし全国は前週)**

**グラフの説明** は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国



**X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第41週、ただし全国は前週）**

**グラフの説明** —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



**XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況**

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第41週  
報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-39週	40週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	0	0	8
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	0	0	105
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	0	0	14
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	0	0	212